

平成24年度 第2回

三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会 議事録

- 1 日 時：平成24年12月21日（金）10：05～11：50
- 2 場 所：三重県庁舎 5階 53会議室
- 3 出席者数：委員12名、事務局7名
- 4 協議事項
 - (1) 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の導入状況について
 - (2) 予算の状況について
 - (3) その他
- 5 概 要

（開会行事、事務局からの説明は省略）

- (1) 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の導入状況について

【委員意見】

- ・桑名が利用証の交付が多くなっている理由を聞きたい。

事務局回答

- ・桑名保健福祉事務所の管轄区域が、桑名市、いなべ市、四日市市一帯と人口の多いところであるため。

【委員意見】

- ・公安委員会が発行する「駐車禁止除外指定車証」と並立した制度とすることについてスタート時点で整理したことを聞きたい。

事務局回答

- ・「三重おもいやり駐車場利用証制度」は、民間も含めた往路外の駐車場での利用となる。往路上の公権力の部分が関わってくる「駐車禁止除外指定車証」の交付対象より緩めとしている。「駐車禁止除外指定車証」は「利用証」の代わりとしてお使いいただける。

【委員意見】

- ・バスの中や駅にポスターを貼るといような啓発に企業として協力していきたい。

【委員意見】

- ・苦情や意見に対してはスケジュールを決めて対処していったほうがよい。

事務局回答

- ・県民の反応、意見については検討し、できることは取り入れていく。

【委員意見】

- ・市町の窓口で受付をした分で、県において利用証が発行できないというケースはあるのか。

事務局回答

- ・市町の窓口で受付をした分について、利用証が発行できなかった事例は今までない。

【委員意見】

- ・個人的に「駐車禁止除外指定車証」を掲示して駐車をしたら警備員に注意をされたことがある。制度を先行している他県でもまだ同様の意見もあるようだ。やはり最終的には周知だと思う。

【委員意見】

- ・発行してもらえない人の意見を聞くだけではなく、利用証を発行した人へのアンケート調査を実施してはどうか。

事務局回答

- ・アンケート調査は実施する。その情報等を含めて市町との会議を2月に開催する予定である。

【委員意見】

- ・一つ一つの意見を全ていれることは難しいと思う。例えば妊娠初期を対象としてほしいという意見などもあるので、また検討課題としてほしい。
- 学校出前講座は、児童・生徒数が多い学校で行うことも大事であるが、いろいろな学校へ広がっていくということも大事である。

【委員意見】

- ・登録区画について、特に商業施設をこれから増やしていくことについてどう考えるか。

事務局回答

- ・協力施設への依頼については、実際は7、8月ぐらいしか動けなかったという状況がある。限られた期間の中で医療機関や商業施設を重点的に依頼させていただいた。来年以降も協力依頼については力を入れていきたい。

【委員意見】

- ・UD団体が区画を登録していただくよう声をかけてもよいのか。

事務局回答

- ・来年度以降、UDアドバイザー等の力を借りることを視野にいれながら展開していきたい。

【委員意見】

- ・妊婦に優しい町ということで、産婦人科にポスターを掲示するなどもう一息力があればやっていただきたい。

(2)予算の状況について

【委員意見】

- ・ 駅舎のバリアフリー化について、前に聞いた 2 駅のほかにあとはどうなっているか。

事務局回答

- ・ 段差解消では対象が 9 駅ある。

【委員意見】

- ・ ノンステップバスの予定を教えてください。

事務局回答

- ・ 要求上は現在 10 台分の要求をしている。

【委員意見】

- ・ 三重県庁全体予算の中でのユニバーサルデザインの予算はどのくらいになるのか。

事務局回答

- ・ 健康福祉部の全体予算は増えているが、7 割以上は社会保障関係費用であり、政策的な経費の確保が苦しくなっている。県が主体的に取り組む P R に係る予算の削減がかなりかかっている。額的にはわずかな割合ということになる。

(3)その他について

【委員意見】

- ・ 若い世代からユニバーサルを勉強できるということを継続していただいているが、来年度予算はどうなるか。

事務局回答

- ・ 出前授業は校数が伸びている段階であるため引き続き行いたいと考えている。まちづくり賞については今年度で終了とし、「おもいやり駐車場」のほうに費用をつけたいと考えている。

以上